

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	開設して10年以上が過ぎ、50代から90代の方に利用して頂いている。グループホームさわやかテラス大野城中央が併設されており、廊下で繋がっているため利用者・スタッフの行き来もあり協力体制がとられている。「あるがままに 楽しく ゆったりと」を家訓に利用者や家族の様々な思いに寄りそいながら、自宅で生活するという・その人らしさは何なのかを日々考えている。開設前から地域の方が積極的に関わってくださり、地域の恩恵も受けている。
事業所名	さわやか憩いの家 大野城中央	管理者	田中しのぶ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	5人	2人	人	人	1人	人	4人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価の改善計画を意識して取り組んでいく(改善計画を掲示する。その都度チーム会議にて周知していく) 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を意識するために周知することは出来た。しかし、継続的に取り組むことは出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組む優先順位をつけるなど一つ一つ改善に向けて取り組んで頂ければと思います。 意識の高さにいつも驚いている、職員のプレッシャーになっていないかとも思った。 重点課題を絞り確実にスキルアップしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を取り組む優先順位をチームで話し合い、一つ一つ達成出来ているか確認しつつ、出来たことを増やしていく
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な掃除を行うためにも、各月の掃除場所の指定をし、実行していく 	<ul style="list-style-type: none"> 気づいたときに掃除を行うことは出来たが、掃除場所を指定し定期的に掃除を行うことは不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の外回りはいつもすっきりされているように感じます。 利用者さんの笑顔が良くみられる。こちらも笑顔になる。 自宅のような雰囲気、鍵がかかっておらず自由に入出りができ、利用者様の安心感を与えていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 清潔清掃を継続していく 定期的な掃除が出来ているかカンファレンスにて確認していく
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き参加できる地域行事には参加していく。また、zoom(インターネット)などを活用した行事があれば、取り組んでいく 	<ul style="list-style-type: none"> 参加できる地域行事には参加することが出来た。(どんと焼き) 	<ul style="list-style-type: none"> 以前から地域に根ざした取り組みを行われており、地域の方にも知られた施設になっていると思います。また、相談しやすい場所にもなっていると思います。 地域と積極的に関わりを持てるように努力されていることが事業所のお便りからも伝わってきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して地域行事へ参加していく ゴミゼロ運動への参加と、その日に限らず事業所前の清掃を行っていく
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの地域の状況を知るためにも、各利用者の地区の民生委員の把握に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターの協力のもと、民生委員さんや地域からの声に動いていくことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で外部の接触は心配。室内でのイベント・外出はされていると思うので良いと思う。 利用者が生活されている環境を大切にしながら、支援者と情報共有を行い、出来る限り住んでいる地域での生活が続けられるように支援をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> より地域へ目を向けていくためにも、エコマップを活用出来る方からすすめていく



<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収束した際には、年に1回は事業所での地域運営推進会議を開催し事業所の様子を知っていただく 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため事業所内での開催は出来なかったが、ZOOMを活用しての地域運営推進会議の実施と事業所内を見て頂くことが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の様子をZOOMで紹介があったので、分かりやすかった。 ・オンラインによる運営推進会議の開催により、参加者の方も書面よりとても分かりやすいものになっているのではないかと。 ・ZOOMで施設内を見せて頂き、利用者さんたちの笑顔が見られとても良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ZOOMなどを活用し、顔の見える地域運営推進会議を継続していく
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再度、消防署の立ち合いが可能か確認していく ・全利用者の被災想定を完成させていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でも防災訓練を継続することが出来た。また、オンラインを活用した、防災訓練にも参加することが出来た。 ・被災想定の手組みは完成することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を継続して、スタッフ・利用者の方々共に防災意識の高まりに繋げて頂ければ。 ・災害時の協定を結んで頂き安心と感謝です。 ・事業所の防災訓練の呼びかけがあれば参加してみたい ・今後も全利用者様の被災想定に沿った対応をスタッフ全員で共有し、対応などの検討をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の日程が決まれば、いこい便りなどでお知らせしていく ・被災想定など、まずは三分の一の利用者の完成を目指してすすめていく。